

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、長座体前屈、反復横とび、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女ともに、特に立ち幅とびやソフトボール投げなどのすばやく動き出す能力である瞬発力や、運動を調整する能力である巧技性が優れている。
- 男女ともに、特に握力などの大きな力を出す能力である筋力に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・ 体育動画を活用して、子どもにお手本となる動きを示し、多様な動きを身につけさせる活動の設定
- ・ ICT機器を利用して自分の動きの課題を発見し、改善させる活動の設定
- ・ 友だちとの交流を通して、動きのポイントや技のコツ等を知ることができる学び合う活動の設定
- ・ できるようになったことを自覚させる自己評価や振り返り活動の設定

②改善を図る点

- ・ 筋力をあげるための準備運動を継続して行うこと
- ・ 運動が苦手な子どもが楽しく取り組むことができるように、興味関心を高め、主体的な学びを生み出す教材の工夫
- ・ 運動特性に応じた筋力の伸長を図る指導内容の吟味

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・ 日常的に運動することへの意識を向上させるために、体育委員会を中心とした体育大会を定期的に行う。そこで、運動の楽しさを味わわせたり、体力アップシートを活用したりして、日常的な運動を促す。
- ・ 朝食摂取率をより向上させるため、家庭への呼びかけを行う。